

## 羽矢辰夫先生の経歴と業績

### 学 歴

- 昭和27年 2月 山口県で生まれる
- 昭和45年 3月 山口県立下関西高等学校卒業
- 昭和46年 4月 東京大学文科Ⅲ類入学
- 昭和50年 3月 東京大学文学部印度哲学印度文学科卒業
- 昭和50年 4月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻修士課程入学
- 昭和53年 3月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻修士課程終了
- 昭和53年 4月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻博士課程進学
- 昭和58年 3月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻博士課程単位取得退学

### 職 歴

- 昭和58年 4月 日本学術振興会研究員（昭和59年3月まで）
- 昭和59年 4月 千葉県立衛生短期大学非常勤講師（哲学、平成2年3月まで）
- 昭和61年 4月 株式会社春秋社編集部嘱託（平成5年3月まで）
- 昭和63年 4月 財団法人東方研究会専任研究員（平成5年3月まで）
- 平成元年 4月 武蔵野女子大学文学部非常勤講師（哲学、平成2年3月まで）
- 平成元年 4月 武蔵野女子大学仏教文化研究所研究員（平成5年3月まで）
- 平成2年 4月 創価大学文学部非常勤講師（哲学、サンスクリット語、平成5年3月まで）
- 平成3年 4月 専修大学文学部非常勤講師（東洋思想史、平成5年3月まで）
- 平成3年 4月 東京大学東洋文化研究所協力研究員（平成5年3月まで）
- 平成4年 4月 日本大学文理学部非常勤講師（中国思想演習、平成5年3月

まで)

- 平成4年4月 日本獣医畜産大学非常勤講師(道徳教育研究、平成5年3月まで)
- 平成4年10月 武蔵野女子大学文学部非常勤講師(哲学、平成5年3月まで)
- 平成5年4月 青森公立大学経営経済学部助教授(平成12年9月まで)
- 平成12年10月 青森公立大学経営経済学部教授(平成28年3月まで)
- 平成13年4月 青森公立大学図書館長(平成17年3月まで)
- 平成19年10月 青森公立大学経営経済学部学部長(平成28年3月まで)
- 平成28年4月 創価大学大学院文学研究科教授(現在に至る)

## 所属学会

日本印度学仏教学会

日本宗教学会

パーリ学仏教文化学会(平成19年度より理事)

KIERA-LP学会(平成8年度より理事、平成26年度より理事長)

## 研究業績

### 著書(単著)

- 1 『ゴータマ・ブッダ』春秋社、平成11年5月
- 2 『ゴータマ・ブッダの仏教』春秋社、平成15年12月
- 3 『スッタニパータ——さわやかに生きる、死ぬ』NHK出版、平成19年1月
- 4 『ゴータマ・ブッダのメッセージ——「スッタニパータ」私抄』大蔵出版、平成23年9月
- 5 『ゴータマ・ブッダその先へ——思想の全容解明』春秋社、令和3年8月

### 著書(共著)

- 1 『ジャータカ全集』第9巻、春秋社、平成3年11月
- 2 『NHK 高校講座倫理』日本放送協会、平成5年4月

- 3 『長阿含経Ⅲ』大蔵出版、平成7年3月
- 4 『撰大乘論現代語訳』コスモスライブラリー、平成8年9月
- 5 『原始仏教の世界』東京書籍、平成12年3月
- 6 *Awakening and Insight*, Routledge, London, 平成14年4月
- 7 『原始仏典 中部経典Ⅰ』春秋社、平成16年3月
- 8 『原始仏典Ⅱ 相应部経典第三卷』春秋社、平成24年11月
- 9 『原始仏典Ⅲ 増支部経典第五卷』春秋社、平成30年10月

#### 論文(単著)

- 1 「義品の思想的研究」東京大学大学院修士論文、昭和53年3月
- 2 「義品に於ける二、三の問題」『印度学仏教学研究』27-2、pp.174-5、昭和54年3月
- 3 「彼岸道品に於ける一考察」『印度学仏教学研究』28-2、pp.124-5、昭和55年3月
- 4 「原始仏教経典に於ける kāma と kāmagaṇa」『印度学仏教学研究』29-2、pp.43-6、昭和56年3月
- 5 「釈尊と業報輪廻」『仏教文化』11、pp.56-64、昭和56年10月
- 6 「原始仏教に於ける滅の問題」『印度学仏教学研究』30-2、pp.67-70、昭和57年3月
- 7 「原始仏教に於ける生滅法(1)」『仏教研究』11、pp.119-31、昭和57年3月
- 8 「原始仏教に於ける理想者」『印度学仏教学研究』31-2、pp.119-22、昭和58年3月
- 9 「原始仏教に於ける生滅法(3)」『印度学仏教学研究』32-2、pp.43-6、昭和59年3月
- 10 「原始仏教に於ける生滅法(2)」『仏教学』17、pp.73-89、昭和59年4月
- 11 「二つの無常」『印度学仏教学研究』34-2、pp.56-61、昭和61年3月
- 12 「釈尊観を考える」『高崎直道博士還暦記念論集』pp.359-69、昭和62年10月

(8) 創価大学人文論集 第34号

- 13 「仏教とトランスパーソナルの接点(1)」『東方』3、pp.203-8、昭和62年12月
- 14 「スッタニパータにおける saññā の意義」『印度学仏教学研究』37-2、pp.95-9、平成元年3月
- 15 「ヴィラーガ(離貪、離染)について」『東方』5、pp.66-73、平成元年12月
- 16 「原始仏教の真理観(1)」『アーガマ』109、pp.165-83、平成2年3月
- 17 「自帰依、法帰依の意味」『パーリ学仏教文化学』3、pp.41-56、平成2年3月
- 18 「無記と無常」『武蔵野女子大学仏教文化研究所紀要』8、pp.41-56、平成2年3月
- 19 「原始仏教の真理観(2)」『アーガマ』110、pp.189-208、平成2年4月
- 20 「現代縁起論——関係性との関連で」『アーガマ』117、pp.22-38、平成2年12月
- 21 「無記と空——原始仏教における」『印度学仏教学研究』39-2、pp.40-4、平成3年3月
- 22 「無記と非我」『前田専学博士還暦記念論集』pp.97-110、平成3年10月
- 23 「空と無我——原始仏教における」『印度学仏教学研究』40-2、pp.12-6、平成4年3月
- 24 「知の三つの様式——仏教とトランスパーソナルの接点(2)」『武蔵野女子大学仏教文化研究所紀要』10、pp.41-64、平成4年6月
- 25 「原始仏教における yathābhūta の解釈」『仏教学』35、pp.25-40、平成5年12月
- 26 「十二縁起の意味」『印度学仏教学研究』43-2、pp.160-4、平成7年3月
- 27 「現代縁起論——自己中心性との関連で」『アーガマ』134、pp.262-81、平成7年4月
- 28 「トランスパーソナルと仏教の接点——前／超の虚偽をめぐって」『トランスパーソナル学』創刊号、pp.68-81、平成8年5月
- 29 「原始仏教における縁起と和平」『日本仏教学会年報』61、pp.59-73、平成

8年5月

- 30 「スリランカ仏教見聞備忘録」『青森公立大学紀要』3-2、pp.30-41、平成10年3月
- 31 「ブッタと心理学」『「仏教と心理学・心理療法の接点を考える集い」論集』pp.15-21、平成11年2月
- 32 「原始仏教における空の意義」『江島恵教教授追悼論文集』pp.25-36、平成12年10月
- 33 「ゴータマ・ブッタの生涯と思想」『東洋学術研究』44-1、pp.51-67、平成17年7月
- 34 「サンユッタ・ニカーヤにおけるドゥッカ(1)」『青森公立大学紀要』12-2、pp.31-41、平成19年3月
- 35 「原始仏教思想研究における欲望について」『印度学仏教学研究』59-1、pp.223-30、平成22年12月
- 36 「「カンダ・サンユッタ」の主題(1)」『青森公立大学紀要』18-1/2、pp.21-30、平成25年3月
- 37 「「カンダ・サンユッタ」における二、三の問題」『奥田聖應先生頌寿記念インド学仏教学論集』pp.575-82、平成26年3月
- 38 「「カンダ・サンユッタ」の主題(2)」『青森公立大学紀要』19-1/2、pp.31-40、平成26年3月
- 39 「「カンダ・サンユッタ」の主題(3)」『青森公立大学紀要』20-1/2、pp.29-41、平成27年3月
- 40 「「カンダ・サンユッタ」の主題(4)」『創価大学人文論集』29、pp.121-144、平成29年3月
- 41 「「カンダ・サンユッタ」の無常・苦・非我」『印度学仏教学研究』66-1、pp.64-70、平成29年12月
- 42 「無常・苦・非我に関わる教説における苦の意味」『創価大学人文論集』30、pp.13-39、平成30年3月
- 43 「ターラ樹の譬え」『創価大学人文論集』32、pp.1-11、令和2年3月

(10) 創価大学人文論集 第34号

翻訳(共訳)

S. ラーダークリシュナン『インド仏教思想史』大蔵出版、昭和60年11月